



- 執行委員長就任あいさつ
- 新型コロナウイルス感染症対応
- ようこそ！高教組
- 岩手高教組法律相談
- 高教組の紹介
- 教員採用試験要項発表
- 会計年度任用職員制度スタート
- 本部書記局執行体制
- 喜怒哀楽
- クロスワードクイズ

就任あいさつ

岩手県高等学校教職員組合執行委員長 佐々木 秀 市

この度の高教組役員選挙にて信任いただき、2020～21年度の執行体制が整いました。本来であれば3月開催予定であった第1回支部・分会代表者会議であいさつすべきところ、紙面にて代えさせていただきます。

教育へのニーズが年々膨らみ、内容も複雑化してきている中、私たちは子どもたちの進路実現・自己実現を大きな目標のひとつに掲げ、目標達成のために子どもたちとともにとりくみを続けてきました。しかし、ここに来て、賃金や長時間労働などのくらしに直結する問題や、学校再編・入試制度・学習指導要領の取り扱いなど教育制度に関する課題、いじめ・不登校・貧困など子どもたちの権利や人権に関わる課題が顕在化してきています。また、新型コロナウイルス感染症対策として2月27日に安倍首相から突然出された学校休業要請は、関係機関、特に教育関係機関との調整もないまま出されたものであり、現場と子どもたちに大きな混乱を招きました。政治が教育に直接介入したのものとしてとらえる必要があります。さらに、子どもたちの将来を考えれば、格差社会の広がりや軍事大国に寄り添った政策、憲法改正問題など、国民の主権や恒久平和に脅威を与える大きな問題が存在しています。

高教組は何をすべきか。答えは、日々学校で子どもたちと向き合っている一人ひとりの組合員の皆さんのとりくみの中にあります。組織率9割から成る組合員の幅広い意見が高教組運動を創っていきます。一人の声は小さいけれど、分会や支部の中で課題が共有されることにより、大きな動きを作るきっかけになります。

多忙でじっくり話し合う事が難しい昨今ではありますが、賃金のこと、超勤上限規制のこと、定年延長のこと、子どもたちの未来のことについて、語り合い、県当局へ直接働きかけることができるのが高教組です。

新型コロナウイルス感染症対応で、不安を抱えた状態での新年度となりましたが、こんな時だからこそ、組織強化・拡大を図り諸課題の解決に向けてとりくんで行くことが大切です。今年1年、分会・支部役員の皆さんと力を合わせ、一人でも多くの組合員の声を高教組運動に生かして行けるよう努力することを表明し、就任のあいさつといたします。

